

本部長就任挨拶

「技術士の社会的地位の向上を目指して」

この度、公益社団法人日本技術士会の理事会にて北海道本部長として承認され就任しました大熊です。本部長就任にあたり、紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス(COVID-19)が流行してから1年半以上になりますが、収束までにはまだ暫く時間を要する見込みです。そのような制約を受けた中でも、新しい形で技術士会活動に積極的に取り組んでこられたことは、会員の皆さんの知恵と努力の賜物と感謝いたします。

さて、今年から技術士の資質向上の責務を検証し、国際通用性の確保を目的にCPD活動実績登録制度が開始されました。今迄、文科省の制度検討特別委員会で検討を重ねてきましたが、この4月に大臣通知が発出されて開始されたところです。

また、今年度から技術士会の年会費が減免になり多少は入会しやすくなりました。新たに入会した場合の年会費免除措置(条件有)もあるので、未入会の方はこの機会にぜひ入会してみたいかでしょうか。そして、入会率が向上することで、知名度だけでなく社会的な信用度や地位も向上するものと考えます。

それでは、入会のメリットは何か？よく聞かれる質問ですが、私は貴重なネットワークの構築ができることと考えます。もちろん、専門的な知識を深掘りすることも可能ですが、21部門の技術士の方と情報を共有することで、今まで見えていなかった局面から物事を考えることができ、個人の資質向上にも寄与するものと考えています。このことは、実際に技術士会に入って活動してみないと判り難いことかもしれませんが、是非そのメリットを実感して

大熊 正信(おおくま まさのぶ)

技術士(建設/総合技術監理部門)

公益社団法人

日本技術士会北海道本部 本部長



いただきたいと願っています。技術士会としても、より積極的に外部発信・情報共有を図っていく必要があると考えています。

今迄の技術士会は、ともすると「コミュニティ」仲間内の集団となりがちだったように感じていますが、技術士会やその活動を社会に発信していくためには「ソサエティ」としての理念で組織を構築し、社会に貢献していかなければならないと考えます。

「第5期科学技術基本計画」では、最新技術を活用することで、私たちの暮らしをより快適にしつつ、地域間の格差や気候変動といったあらゆる社会的課題の解決を目指す必要があり、Society 5.0を定義しています。すなわち、未来に向けて私たち技術士の果たす役割は非常に大きいものがあるのです。なかでもSDGs(持続可能な開発目標)については、今年11月の創立70周年記念技術士全国大会のテーマにも取り上げましたが、2030年までに達成しなければならない17の目標があり、その多くに私たち技術士が深く関わっていくべき項目が含まれています。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されましたが、世界中の国々が集う場を見ていて、この17項目の重要性を強く感じたところです。そして、大会を多面的に支えたのも、最新技術を駆使した科学技術であったと感じました。

このように、よりよい社会を構築していくために、私たち技術士が積極的に活動する必要があり、日本技術士会北海道本部も、社会的地位の向上を目指して活動の場を提供できるよう運営していきたいと考えています。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いして、就任のご挨拶といたします。